学校番号	3019

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	生活支援技術 （分野：生活支援技術）	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	「生活支援技術」　（実教出版）						
副教材等	「介護職員初任者研修テキスト」（ＱＯＬサービス） 「見て覚える介護福祉士国試ナビ」（中央法規）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

介護を必要とする人の自立した生活を支援するための安心・安全な介護技術を学び、施設実習やボランティア活動を通じて実践力を高めていきます。２年生では、食事、入浴、排せつ、移動、衣服着脱などの介護技術を学ぶことで、介護福祉士として必要な基本的な介護技術、知識を育みます。

①介護を必要とする人の生活場面に応じた介護技術の方法について興味や関心を持って授業に取り組み、介護技術の演習やグループワークなど、積極的に参加しましょう。

②２年福祉科目の授業のなかで介護職員初任者研修課程を実施し、資格取得をめざします。

③国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

2　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、適切で安全・安楽な生活支援技術を提供するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。

【知識および技術】

自立生活の支援について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。

【思考力、判断力、表現力等】

自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。

【学びに向かう力、人間性等】

健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自立生活の支援について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	介護職員初任者研修課程	【介護職員初任者研修課程】 9 こころとからだのしくみと生活支援技術 ア 基本知識の学習 ①介護の基本的な考え方 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	a:人間のからだに関する基本的な知識とボディメカニクスの活用について理解している。 b:利用者の心身状況や環境、ニーズに応じた利用者へのアプローチの方法を考察し、適切に提案することができる。 c:生活を支援する介護の８つの視点について関心をもち、より良い介護に向けて利用者へのアプローチの方法を主体的に活用できる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ
		イ 生活支援技術の講義･演習 ④生活と家事 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動･移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴･清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	a:利用者の方の尊厳を保持した自立支援の方法、潜在的能力を引き出す支援を行うために必要な基本的知識を理解している。 b:利用者の方の尊厳を保持した自立支援方法について、利用者の方の状態や状況に応じた根拠に基づいた支援内容を考察し、表現することができる。 c:介護を必要とする人の気持ちに寄り添って安全･安楽な介護について、主体的に活用できる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ

2学期	介護職員初任者研修課程	【介護職員初任者研修課程】 9 こころとからだのしくみと生活支援技術 イ 生活支援技術の講義・演習 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	a:尊厳を保持した終末期の介護や利用者の身体状況、精神状態の変化について理解している。 b:終末期において、利用者の方の生活習慣や価値観などの個別性を尊重した支援を考察し、表現することができる。 c:人の死に対して関心を持ち、その人らしく生きられるよう支援するために、相手の立場に立ったターミナルケアを主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 提出ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 発表
	自立に向けた生活支援技術	第2編 自立に向けた生活支援技術 第5章 食事の支援 1 食事の意義と目的 2 食事の支援の技法	a:食事の意義や目的、食事介助を行うためのアセスメントの視点と介助方法の留意点を理解している。 b:身体機能の低下や咀嚼・嚥下障がい、感覚障がい、認知障がいなどの食事介護を必要とする方の状態や状況に応じた支援内容について考察し、表現することができる。 c:食事介護に必要な知識・技術だけではなく、食事における危険性にも関心を持ち、安全・安楽な介護について、主体的に活用できる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ
		第7章 排泄の支援 1 排泄の意義と目的 2 排泄の支援の技法	a:排泄の意義や目的について理解させるとともに、排泄を促すための介助に必要な介護従事者としての留意点を理解している。 b:プライバシーの保護や尊厳の保持に配慮した排泄の介護を考察し、利用者の方が安心できる排泄行為を支える介護について提案することができる。 c:人間にとっての排泄の意義と目的に関心を持ち、自立に向けた排泄支援を主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 実技ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ 発表

3学期	自立に向けた生活支援技術	第6章　入浴・清潔保持の支援 1　入浴・清潔保持の意義と目的 2　入浴・清潔保持の支援の事前準備や留意点 3　入浴・清潔保持の支援の技法	a:清潔行為の意義と方法について理解し、各疾患や障がいについての知識を持ち、それぞれの介護方法につなげることができる。 b:日常の観察の必要性や入浴に伴う事故の予防と安全な浴室環境の整備について考察し、事故時の対応について提案することができる。 c:入浴・清潔保持の意義や作用に関心を持ち、入浴の楽しみを支える介護を主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ
		第8章　睡眠・休養の支援 1　睡眠・休養の意義と目的 2　睡眠・休養の支援の技法	a:睡眠の意義と睡眠のリズム、安眠を促すための環境とその調整方法を理解している。 b:睡眠におけるアセスメントの必要性と観察のポイントを踏まえ考察し、安眠を促すための介護について表現することができる。 c:安眠を促すための介護に関心を持ち、自身の日頃の睡眠の状況と関連させながら自立に向けた睡眠の支援を主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度